



19

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル (その2)

(1/4) ■ 内積の利用① ■

垂直の証明①(位置ベクトルを使って)

◇ 《垂直の証明(位置ベクトルを使って)》 学力化 → /

★解法の技術★

四面体 $ABCD$ において、次のことが成り立つことを証明しなさい。
 $AC \perp BD$, $AD \perp BC$ ならば, $AB \perp CD$

【考え方】 「垂直」を証明するには、「内積が0」になることを示せばよい。 ◀大原則

つまり、③ $AB \perp CD$ を証明するには、 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{CD} = 0$ を示せばよい。

① $AC \perp BD$, ② $AD \perp BC$ という条件の使い方を工夫する。

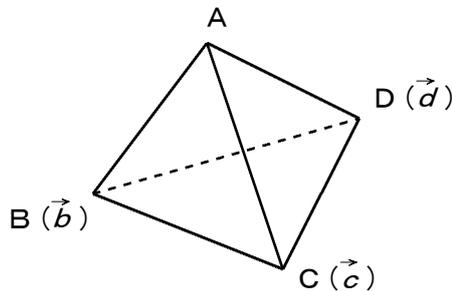
点 A , B の位置ベクトルを、それぞれ \vec{a} , \vec{b} とすると、

$$\overrightarrow{AB} = \vec{b} - \vec{a}$$

◀ 終点 - 始点
 $B \quad A$

[答 案]

① (図をかく)



◀ A を基点として、
 位置ベクトルを表示する。
 (基点を O とするとめんどろ！)

① (位置ベクトルを定義する)

$$\overrightarrow{AB} = \vec{b}, \overrightarrow{AC} = \vec{c}, \overrightarrow{AD} = \vec{d} \text{ とする。}$$

② (条件 $AC \perp BD$ を位置ベクトルで表す)

$$AC \perp BD \text{ より, } \overrightarrow{AC} \cdot \overrightarrow{BD} = 0$$

$$\overrightarrow{AC} \cdot (\overrightarrow{AD} - \overrightarrow{AB}) = 0$$

$$\vec{c} \cdot (\vec{d} - \vec{b}) = 0$$

$$\vec{c} \cdot \vec{d} - \vec{b} \cdot \vec{c} = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

◀ BD を、 A を基点とした位置ベクトルで表す
 ためにベクトルを変形する

$$\overrightarrow{BD} = \overrightarrow{AD} - \overrightarrow{AB}$$

$$\vec{d} \quad \vec{b}$$

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【空間のベクトル No. 1 9 (1/4)】 - 〈2枚目/2枚〉

➡ (前のページからのつづき)

3 (条件 $AD \perp BC$ を位置ベクトルで表す)

$$AD \perp BC \text{ より, } \overrightarrow{AD} \cdot \overrightarrow{BC} = 0$$

$$\overrightarrow{AD} \cdot (\overrightarrow{AC} - \overrightarrow{AB}) = 0$$

$$\vec{d} \cdot (\vec{c} - \vec{b}) = 0$$

$$\vec{c} \cdot \vec{d} - \vec{b} \cdot \vec{d} = 0 \quad \dots \textcircled{2}$$

◀ BC を, A を基点とした位置ベクトルで表すためにベクトルを変形する

$$\overrightarrow{BC} = \overrightarrow{AC} - \overrightarrow{AB}$$

$$\vec{c} \quad \vec{b}$$

4 (結論 $AB \perp CD$ を位置ベクトルで表す)

ここで,

$$\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{CD} = \overrightarrow{AB} \cdot (\overrightarrow{AD} - \overrightarrow{AC})$$

$$= \vec{b} \cdot (\vec{d} - \vec{c})$$

$$= \vec{b} \cdot \vec{d} - \vec{b} \cdot \vec{c} \quad \dots \textcircled{3}$$

◀ CD を, A を基点とした位置ベクトルで表すためにベクトルを変形する

$$\overrightarrow{CD} = \overrightarrow{AD} - \overrightarrow{AC}$$

$$\vec{d} \quad \vec{c}$$

5 (位置ベクトルで結論 (内積 = 0) を導く)

$$\textcircled{1} \text{ より, } \vec{c} \cdot \vec{d} = \vec{b} \cdot \vec{c}$$

$$\textcircled{2} \text{ より, } \vec{c} \cdot \vec{d} = \vec{b} \cdot \vec{d}$$

であるから, $\textcircled{3}$ を $\textcircled{1}$ と $\textcircled{2}$ を使って置きかえると,

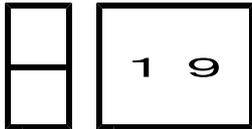
$$\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{CD} = \vec{b} \cdot \vec{d} - \vec{b} \cdot \vec{c}$$

$$= \vec{c} \cdot \vec{d} - \vec{c} \cdot \vec{d}$$

$$= 0$$

6 (結論を書く)

よって, $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{CD} = 0$ となり, $AB \perp CD$ といえる。



第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

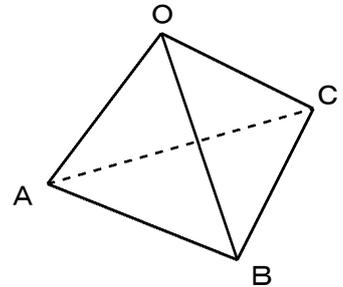
4 位置ベクトル (その2)

(2/4) ■ 内積の利用① ■

◇ 《垂直の証明(位置ベクトルを使って)》 **学力化** → /

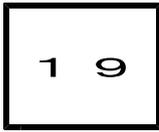
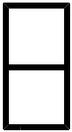
-----★理解のチェック★-----

四面体 $OABC$ において、 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ 、 $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ 、 $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とする。 $OA \perp BC$ 、 $OB \perp CA$ ならば、 $OC \perp AB$ であることをベクトルを用いて証明しなさい。

-----
[答 案]

授業で使う「テキスト(プリント)」には、

- ・ 解法の全体の方針や流れを示すガイド (【考え方】) と、
- ・ 答案作成フォーマット(共通テストに準じた誘導ガイド) が印刷されています。



第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル (その2)

(3/4) ■ 内積の利用① ■

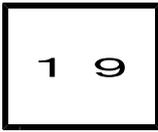
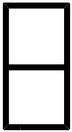
◇ 《垂直の証明(位置ベクトルを使って)》 **学力化** → / ,

★演習★【1】

四面体 $OABC$ において、 $OA=OB$, $\vec{OC} \perp \vec{AB}$ とする。

- (1) $AC=BC$ であることを証明しなさい。
- (2) $\triangle ABC$ の重心を G とするとき、 $\vec{OG} \perp \vec{AB}$ であることを証明しなさい。

[答 案]



第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル（その2）

（4 / 4） ■ 内積の利用① ■

◇ 《垂直の証明(位置ベクトルを使って)》 **学力化** → /

★演習★【2】

四面体 $OABC$ において、

$$OA \perp BC \quad \dots \textcircled{1}$$

$$OB \perp CA \quad \dots \textcircled{2}$$

であるとき、次の等式が成り立つことを証明しなさい。

$$OA^2 + BC^2 = OB^2 + CA^2 = OC^2 + AB^2$$

[答 案]